

平成25年度 事務事業評価シート ※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	公共施設予約システム運営事業						継続			
コード	24	-	15	-	01	-	01	予算事業名	電子市役所の推進	
担当部署	総務部	情報統計課		情報化推進担当		予算事業コード	会計 10	款 02	項 01	目 01

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)		位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	共通	協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進	実施計画事業名	電子市役所の推進
方向性(節)	2節	行財政改革の強力な推進	個別計画等の名称	なし
施策	4	電子市役所の推進	当事業に関連する事務事業	なし
細施策	1	行政サービスのオンライン化の推進		
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民等が、パソコンや携帯端末、各施設にある専用端末を通じて、滞りなく公共施設の予約等ができるようにする。 対象施設を充実させ、市民サービスの向上を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	システムの円滑な運営を行うとともに、新設となる公共施設については、関係部署と調整し、システムの対象としていく。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	38,236	36,759	36,728	36,536	34,262	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費	A	35,776	36,517	37,790	36,449	54,601
人件費	B	2,201	2,201	2,201	2,201	2,201
総コスト(C=A+B)		37,977	38,718	39,991	38,650	56,802
正規職員(1年間の従事人数)		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員(1年間の従事人数)						
国県支出金	D					
その他特定財源	E					
市の財政負担(=C-D-E)		37,977	38,718	39,991	36,463	56,802

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
成果	利用件数	件	95,658	96,224	96,212	98,959	99,000	29年度 100,000
	指標の定義・説明	公共施設予約システムを利用した年度別の件数						
成果	利用者登録件数	件	8,610	10,987	12,792	14,861	15,000	29年度 17,000
	指標の定義・説明	公共施設予約システムに登録している利用者の延べ件数						
活動	対象施設数	施設	43	44	44	45	44	29年度 47
	指標の定義・説明	パソコンや携帯電話等による予約等が可能な施設の数						
	指標の定義・説明							
指標に基づく評価	平成20年度に本システムを導入し、対象施設の拡大や利用者の利便性向上のため各種改良を行い、結果として利用者登録件数等の増加につながった。							

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
現在の公共施設予約システム上の予約行為等は、あくまでも仮予約であるため、各施設の窓口に出向いて本申請等を行って初めて施設を利用できるようになる。インターネット上等ですべての処理(予約～申請～支払～許可)が完了できれば効率的である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	-
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	現在、各施設の窓口に出向かなくとも、施設の空き照会や予約等ができるため、事業の廃止等を行った際は市民サービスの低下が懸念される。

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		総務部				情報統計課	情報化推進担当
事務事業名称		24	15	01	01	公共施設予約システム運営事業	
今後3年間の方向性	25年度	改善(見直し)		公共施設予約システム自体は十分に認知され、利用もなされているため、大幅な変更は不要と思われるが、運用時間の拡大をはじめとした利便性の向上及び維持管理費を含めた運用経費の削減方法の検討を進める。			
	26年度	改善(見直し)		25年度の検討結果に基づき、システムの見直しを行う。			
	27年度	継続					